



沖縄地区税関 管内貿易概況（速報） 平成31年4月分

（増減・伸率は対前年同月比）

●今月のポイント

●輸出

・輸出総額は 23 億 77 百万円、対前年同月比 25.7%増(2ヵ月ぶりの増加)

- ・主な増加品目は「輸送用機器」(6.6 倍)、「肉類及び同調製品」(2.5 倍)、「その他の雑製品」(2.9 倍)
（主な減少品目は「一般機械」(▲57.8%)、「魚介類及び同調製品」(▲41.4%)、「金属鉱及びくず」(▲18.1%)）
- ・国別構成比はインドネシア(41.1%)、台湾(13.0%)、香港(12.7%)、中国(5.9%)、韓国(5.7%)

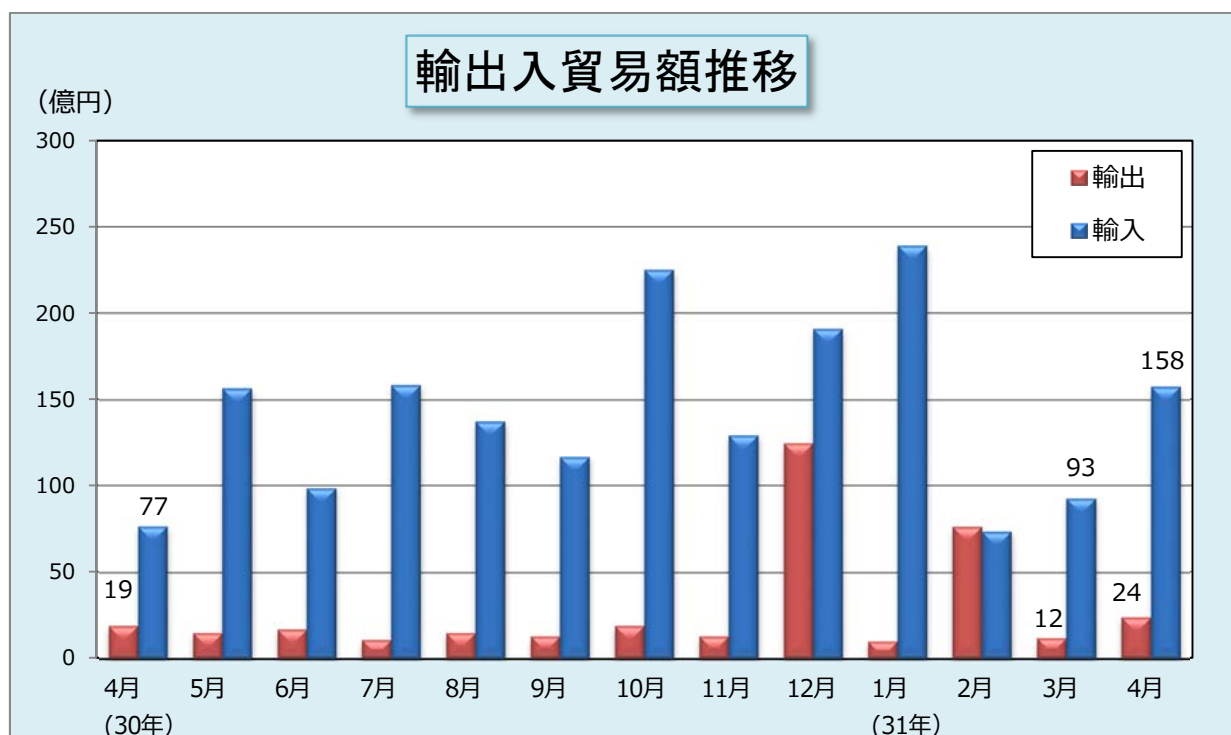
●輸入

・輸入総額は 157 億 63 百万円、対前年同月比 2.1 倍(5ヵ月ぶりの増加)

- ・主な増加品目は「天然ガス及び製造ガス」(1113.6 倍)、「石油製品」(145.8 倍)、「石炭」(27.9%)
（主な減少品目は「穀物及び同調製品」(▲75.9%)、「一般機械」(▲26.7%)、「木製品及びコルク製品(除家具)」(▲13.5%)）
- ・国別構成比はオーストラリア(36.1%)、中国(25.8%)、インドネシア(7.9%)、アメリカ(7.8%)、イタリア(2.2%)

●差引

・差引額は 133 億 86 百万円の入超(前年同月は 58 億円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(金額・伸率)
1 輸送用機器 (10億6百万円、6.6倍)	42.3%	インドネシア(9億50百万円、全増) アラブ首長国連邦(24百万円、52.2%)
2 一般機械 (2億77百万円、▲57.8%)	11.7%	香港(54百万円、▲88.2%) 台湾(39百万円、▲33.1%)
3 金属鋳及びびくず (1億91百万円、▲18.1%)	8.0%	台湾(1億41百万円、全増) 韓国(35百万円、▲2.1%)
4 パルプ及び古紙 (1億67百万円、▲0.1%)	7.0%	中国(66百万円、▲33.4%) 台湾(48百万円、2.5倍)
5 再輸出品 (1億26百万円、▲14.5%)	5.3%	香港(80百万円、3.2倍) 韓国(26百万円、9.1倍)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国</p> <p>1 輸送用機器(+8億54百万円、6.6倍) インドネシア、香港</p> <hr/> <p>2 肉類及び同調製品(+62百万円、2.5倍) 香港、タイ</p> <hr/> <p>3 その他の雑製品(+29百万円、2.9倍) 中国</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国</p> <p>1 一般機械(▲3億81百万円、▲57.8%) 香港、タイ</p> <hr/> <p>2 魚介類及び同調製品(▲64百万円、▲41.4%) グアム、香港</p> <hr/> <p>3 金属鋳及びびくず(▲42百万円、▲18.1%) 中国、韓国</p> <hr/>		

(2) 主要国別動向

国名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 インドネシア (9億76百万円、140.1倍)	41.1%	輸送用機器(9億50百万円、全増) パルプ及び古紙(22百万円、3.2倍)
2 台湾 (3億8百万円、83.0%)	13.0%	金属鋳及びびくず(1億41百万円、全増) パルプ及び古紙(48百万円、2.5倍)
3 香港 (3億2百万円、▲50.7%)	12.7%	再輸出品(80百万円、3.2倍) 肉類及び同調製品(70百万円、4.1倍)
4 中国 (1億40百万円、▲54.5%)	5.9%	パルプ及び古紙(66百万円、▲33.4%) その他の雑製品(38百万円、全増)
5 韓国 (1億36百万円、58.8%)	5.7%	精密機器類(35百万円、16.4%) 金属鋳及びびくず(35百万円、▲2.1%)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(金額・伸率)
1 天然ガス及び製造ガス (53億10百万円、1113.6倍)	33.7%	オーストラリア(53億8百万円、全増)
2 石油製品 (25億38百万円、145.8倍)	16.1%	中国(24億46百万円、全増) 韓国(80百万円、21.1倍)
3 石炭 (17億67百万円、27.9%)	11.2%	インドネシア(10億61百万円、全増) アメリカ(3億98百万円、全増)
4 肉類及び同調製品 (8億66百万円、28.6%)	5.5%	デンマーク(1億77百万円、▲31.5%) スペイン(1億64百万円、2.2倍)
5 その他の雑製品 (4億77百万円、▲5.7%)	3.0%	中国(1億96百万円、▲2.5%) 台湾(62百万円、21.4%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国</p> <p>1 天然ガス及び製造ガス(+53億5百万円、1113.6倍) オーストラリア</p> <hr/> <p>2 石油製品(+25億21百万円、145.8倍) 中国、韓国</p> <hr/> <p>3 石炭(+3億86百万円、27.9%) インドネシア、アメリカ</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国</p> <p>1 穀物及び同調製品(▲3億38百万円、▲75.9%) タイ、カナダ</p> <hr/> <p>2 一般機械(▲1億21百万円、▲26.7%) ドイツ、台湾</p> <hr/> <p>3 木製品及びコルク製品(除家具)(▲53百万円、▲13.5%) 中国、マレーシア</p> <hr/>		

(2) 主要国別動向

国名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (56億92百万円、4.2倍)	36.1%	天然ガス及び製造ガス(53億8百万円、全増) 石炭(3億8百万円、▲76.2%)
2 中国 (40億71百万円、2.6倍)	25.8%	石油製品(24億46百万円、全増) 家具(2億45百万円、2.3倍)
3 インドネシア (12億41百万円、8.0倍)	7.9%	石炭(10億61百万円、全増) 魚介類及び同調製品(48百万円、37.9%)
4 アメリカ (12億34百万円、55.6%)	7.8%	石炭(3億98百万円、全増) 一般機械(1億円、65.9%)
5 イタリア (3億41百万円、33.8%)	2.2%	バッグ類(2億12百万円、30.1%) その他の雑製品(48百万円、2.2倍)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

